

2006年9月26日
株式会社ブロードバンドセキュリティ

BBSec、ケーブル事業者初！ケーブルテレビ徳島に Anti-Abuse Mail Service を導入

～増え続けるスパムメールへの対処と OP25B※1 への対応～

株式会社ブロードバンドセキュリティ（本社：東京都新宿区、代表取締役：持塚 朗、以下「BBSec」）はケーブルテレビ徳島株式会社（本社：徳島県徳島市、代表取締役社長 仁田 忠宏、以下、「テレビトクシマ」）のメールシステムに、高度なセキュリティ機能を搭載したセキュアメール ASP サービス「Anti-Abuse Mail Service（アンチ・アビュース・メール・サービス）」をケーブルテレビ事業者としては初めて導入しました。

◆Anti-Abuse Mail Service 導入の目的と効果

テレビトクシマはスパム対策によるユーザ満足度の向上と、自社ネットワークがスパムの発信元/中継元とならないための対策（OP25B※1）のため、万全なセキュリティ対応がなされ、導入/運用コストが低い Anti-Abuse Mail Service を導入しました。Anti-Abuse Mail Service 導入により、当初の目的であるスパム対策によるユーザ満足度の向上の達成、メールシステムの運用効率の向上と運用コストの大幅な削減を達成されています。さらに、メールの配信系（送受信）の安定によりユーザからの問い合わせが激減し、ユーザ対応工数の削減にも貢献しています。

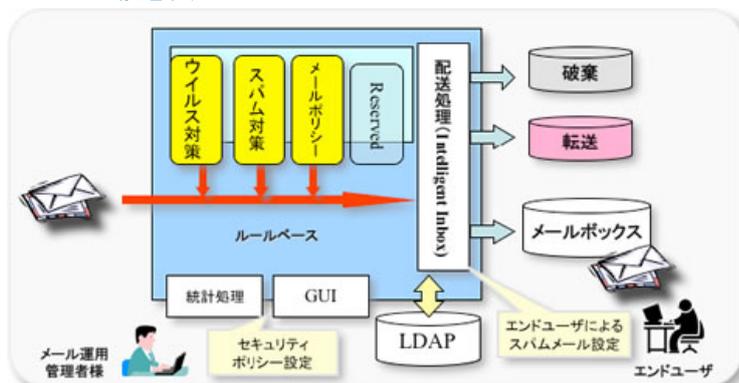
◆Anti-Abuse Mail Service について

Anti-Abuse Mail Service は、高い安定性を誇る送メールのメッセージングソリューション群、中でも「Sendmail Mailstream manager」（MM）を採用することでアンチウィルス/アンチスパムフィルタを標準装備するとともに、ISP ごとに異なるセキュリティニーズへの柔軟な対応を実現したメール ASP サービスです。最新のスパム対策である「メールサーバに対するディレクトリハーベスティング（アドレス収集）攻撃対策」、「送信ドメイン認証」、「SMTP Authentication」、「Message Submission」、「TLS（Transport Layer Security）/SSL（Secure Socket Layer）による経路暗号化」など、セキュアなメールサービスに必要な機能を完備しています。サーバやストレージの冗長化とともに、BBSec の運用・監視チームが 24 時間 365 日体制で運用監視し、システムの安定稼働を実現しています。既存のシステムからのユーザの移行や登録/削除についても柔軟な対応が可能です。

◆今後の展開

Anti-Abuse Mail Service は数千以上の加入者を持つ ISP 事業者に対して提供してまいりましたが、加入者の少ない一般企業に対して提供するための拡張、管理者が組織のポリシーを一括で設定できる管理者画面、企業のユーザ管理システムと連携するためのインタフェースを用意し、企業ユーザに向けて展開を行います。

サービス概念図



※1 「Outbound Port25 Blocking (OP25B)」ISP が ISP の顧客に割り当てる IP アドレスから ISP の外部に出て行く SMTP 接続 (Port25) を禁止する処置。迷惑メールの大半は、セキュリティホールを利用して一般ユーザの PC に感染した「ボット」から送られている。OP25B を実施することで、ISP の内部に分布するボットから送信される迷惑メールを ISP 外部に流出することを抑止する効果が期待できる。

NEWS RELEASE



以上

【本リリースに関するお問合せ】

株式会社ブロードバンドセキュリティ

社長室 広報担当 有本 皓（ありもと ひろし）

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 8-5-1 野村不動産西新宿共同ビル 4F

TEL : 03-5338-7424 FAX : 03-5338-7435

E-mail : press@BBSec.co.jp